

# 第13回日本糖尿病医療学学会



## 第4回ワークショップ「医療者の戸惑いと成長の医療学」

医療者の皆さん、日々、「医療」として患者さんに「医学」を手渡していく中で、多くの「戸惑い」を経験されていないでしょうか？

本ワークショップでは、医療者の「戸惑い」について皆で考えていきます。今年は、2026年学会テーマである「困難を希望に変える医療学—糖尿病を持つ人に寄り添い、ともに歩む—」に合わせ、グループワークで話し合うテーマを「患者さんからの問いかけに対する戸惑い」にしました。日常診療では、患者さんから投げかけられる問いに即答できなかったり、自分自身の価値観が揺さぶられたりする場面があります。そのような経験を参加者同士で共有し、それぞれの問いを丁寧に聴き合いながら、多様な立場から対話を深めていきます。

本企画が、多職種間の相互理解や自己の振り返り・相対化を促すとともに、「問い」を持ち続けながら実践する医療者としての姿勢を育む機会となることを期待しています。皆様のご参加をお待ちしております。



- 日時：10月10日（土）13:15－14:35
- 場所：第5会場(会議室III)
- 対象：第13回日本糖尿病医療学学会参加者
- 定員：~~18名~~ **12名**（事前申込制）

※定員を超えた場合は職種の多様性を確保できるように調整させていただきます。

- ワークショップの目的：

①医療者として働く中での「モヤモヤ」の共有 ②多職種の交流

- 内容：

1. 導入

2. グループワーク：1グループ数名で、それぞれの「モヤモヤ」を話す

★テーマ：患者さんからの問いかけに対する戸惑い

3. まとめ

- ファシリテーター：

森崎志麻（きしメンタルクリニック）・岡崎研太郎（九州大学）

小比賀美香子（岡山大学）

- 申し込み締め切り：10月2日（金）

- 申し込み方法：

▼こちらからお申込みください。

<https://forms.gle/h6L5N69xq8gVETn27>

